



MORITA GROUP

MORITA REPORT 2014

株主・投資家のみなさまへ

第82期中間報告書

2014年4月1日から2014年9月30日まで



MORITA

証券コード:6455

モリタトピックス

■ 新型消防車両「Miracle N7（ミラクル エヌセブン）」を開発

私たちは東日本大震災から、大規模地震時にも対応できる機能を備えた消防用設備が必要であると考えました。消防車両の製造販売を手がけるモリタではそのひとつの解決策として、分離膜を用いて空気から酸素を除去



Miracle N7(ミラクル エヌセブン)

し窒素濃度を高めた気体を作り、消火薬剤として放出できる消火設備「窒素富化空気(NEA)システム = Nitrogen Enriched Air System」を開発し、このシステムを搭載した消防車両「Miracle N7(ミラクル エヌセブン)」第1号車を日本原燃株式会社様へ納入いたしました。

NEAシステムとは、空気（窒素78%、酸素21%、その他1%）から酸素を除去し窒素濃度を高めた気体を連続的に放出するシステムで、災害現場で継続して低酸素濃度環境を維持することで、消火・延焼防止・出火予防の効果を発揮します。また、窒素富化空気濃度をコントロールすることで、短時間では人体にほとんど影響がなく、かつ燃焼できない酸素濃度（12.5%）を維持することが可能になります。原子力施設だけでなく、石油備蓄基地や水損被害を避けたい博物館、美術館、重要文化財、データセンターなどでの燃えない空間づくりへの活用も可能で今後も様々な場所へのシステム提案を考えています。

■ 消防車両と塵芥車両で2014年度 グッドデザイン賞を受賞

公益財団法人日本デザイン振興会主催の「2014年度グッドデザイン賞」に、モリタグループが開発した「MVF 13mブーム付多目的消防ポンプ自動車」と「回転式塵芥収集車パックマスター7系」が揃って受賞いたしました。

「MVF 13mブーム付多目的消防ポンプ自動車」は、雑居ビルや混み合った都市部での消火や救助活動に適した中型消防車で、このサイズでバスケット付ブームと水槽及びCAFS付消防ポンプを搭載したものは国内初である点と、日本の都市の火災の状況と消防署の要望とを整理し、最もコンパクトで最大の機能を発揮できるように考案された点が評価されました。消火活動及び救助活動を安全かつ迅速に行えるコンパクトな消防車を作り、一人でも多くの命を救いたいという開発の精神を活かしたデザインです。



MVF 13mブーム付多目的消防ポンプ自動車

また、「回転式塵芥収集車パックマスター7系」は、コンパクトながら最大収容力を持つごみ収集車で、これまでの数々の現場での課題に対応した、現段階では最新鋭の働く自動車との評価を受けました。作業車両に必須である実用性と安全性を極限まで高めつつ、従来の車両が十分に表現しきれなかった働く車にふさわしい力強さ・清潔感・信頼感を妥協することなく外観デザインに表現しました。



回転式塵芥収集車 パックマスター7系

日々改善を加えつつ着実かつ堅実に一步ずつ前進し、次なるスタンダードを提示するというこの賞の理念を大切に、今後もモノづくりに取り組んでまいります。

■ 着るだけで、腰の負担が軽くなる 女性用腰サポートインナー 「rakunie calena(カレナ)」を開発

当社は慶應義塾大学 山崎信寿教授 とグンゼ株式会社との3者連携により、着るだけで腰の負担が軽くなる女性のための腰サポートインナー「rakunie calena(カレナ)」を共同開発し販売を開始いたします。

当社では、2012年10月より腰部サポートウェア「rakunie(ラクニエ)」を販売しておりますが、このラクニエで培った“動力を使わず、弾性生地 of 弾性力を利用する”腰サポート機能をベースに、「毎日の仕事をもっと楽にしたい」という女性の思いに寄り添い開発を行いました。

介護士、看護師を始め、働く女性は、日常的に中腰姿勢や前屈姿勢を取る場面が多くあり、このような姿勢はたとえ重い荷物を持たなくても腰への負担となります。カレナは、負担が大きい中腰・前屈姿勢時に、身体変化を利用して弾性生地の力強い伸縮力を発生させ、腰の筋肉をサポートします。また、女性が着るインナーだからこそ、サポート機能だけでなく着用感や体のラインを美しく見せることを実現した、インナー代わりに着れて腰の負担が軽くなるサポートウェアです。



これもまた当社の企業理念である、「安全で住みよい豊かな社会」に向けた取り組みのひとつです。

トップメッセージ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、弊社第82期の中間報告書をお届けするにあたり、営業の概況についてご報告申し上げます。

営業の概況

当第2四半期におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策により企業業績や雇用情勢の改善がみられ、景気は緩やかな回復基調にありますが、消費税増税や原材料価格の上昇などの影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、積極的な営業展開に加え、原価低減の推進を図るとともに、新製品の開発に取り組んでまいりました。

当第2四半期の経営成績につきましては、売上高は前年同期比572百万円減少し、23,400百万円（2.4%減）、営業利益は前年同期比21百万円減少し、1,006百万円（2.1%減）、経常利益は前年同期比96百万円増加し、1,180百万円（8.9%増）、四半期純利益は前年同期比273百万円増加し、792百万円（52.6%増）となりました。

なお、当社グループのセグメントごとの業績は次のとおりです。消防車両事業は、積極的な営業活動により受注は順調に推移しており、売上高は8,813百万円（前年同期比1.9%増）。防災事業は、パッケージ型自動消火設備「スプリネックス」の販売が堅調に推移しており、売上高は7,735百万円（前年同期比5.7%増）。産業機械事業は、製品及び部品・メンテナンスの売上が概ね予定通り進捗したことから、売上高は2,428百万円（前年同期比8.8%増）。環境車両事業は、受注は順調に推移する一方、製品の出荷が、第3四半期以降に偏重する見通しで

あることから、売上高は4,423百万円（前年同期比3.8%減）。以上の結果となりました。

今後の見通し

以上のとおり、当第2四半期における当社グループの業績は、各事業において概ね予定通り推移していることから堅調に推移いたしました。引き続きわが国経済は予断を許さない状況が続くものと思われませんが、今後も積極的な営業活動に努めるとともに、原価低減及び生産の効率化を促進し、収益確保を図ってまいります。

株主のみなさまにおかれましては、何卒一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年11月

代表取締役社長 中島 正博

連結財務諸表

● 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成25年9月30日現在)	当第2四半期 (平成26年9月30日現在)	前 期 (平成26年3月31日現在)
資 産 の 部			
流 動 資 産	36,349	35,359	42,081
固 定 資 産	41,283	44,922	43,472
資 産 合 計	77,632	80,281	85,553
負 債 の 部			
流 動 負 債	25,467	24,281	28,059
固 定 負 債	12,181	10,687	13,382
負 債 合 計	37,648	34,968	41,441
純 資 産 の 部			
株 主 資 本	39,145	43,883	43,229
資 本 金	4,746	4,746	4,746
資 本 剰 余 金	3,743	4,331	4,331
利 益 剰 余 金	31,719	35,048	34,387
自 己 株 式	△1,063	△242	△235
その他の包括利益累計額	△430	915	△254
その他有価証券評価差額金	1,210	2,986	1,816
繰延ヘッジ損益	2	△8	4
土地再評価差額金	△1,774	△1,804	△1,804
為替換算調整勘定	130	172	287
退職給付に係る調整累計額	—	△429	△557
少 数 株 主 持 分	1,268	512	1,135
純 資 産 合 計	39,983	45,312	44,111
負 債 純 資 産 合 計	77,632	80,281	85,553

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	前 期 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)
売 上 高	23,972	23,400	71,666
売 上 原 価	17,441	17,088	53,368
売 上 総 利 益	6,531	6,311	18,297
販売費及び一般管理費	5,503	5,305	11,603
営 業 利 益	1,028	1,006	6,694
営 業 外 収 益	228	314	660
営 業 外 費 用	172	140	371
経 常 利 益	1,084	1,180	6,983
特 別 利 益	11	4	56
特 別 損 失	170	31	1,312
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	925	1,153	5,726
法 人 税 等	485	464	2,318
少数株主損益調整前 四半期(当期)純利益	439	689	3,408
少数株主損失(△)	△79	△102	△119
四半期(当期)純利益	519	792	3,527

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	前 期 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,394	△2,472	4,310
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,878	△2,340	△5,565
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,029	△201	1,939
現金及び現金同等物に係る換算差額	69	△27	90
現金及び現金同等物の増減額	△3,174	△5,042	776
現金及び現金同等物の期首残高	8,748	9,525	8,748
連結の範囲の変更に伴う 現金及び現金同等物の増減額	—	△254	—
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	5,574	4,227	9,525

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要

(平成26年9月30日現在)

■ 概要

商号	株式会社モリタホールディングス
創業	明治40年4月23日
設立	昭和7年7月23日
資本金	47億4,612万円
大阪本社	大阪府中央区道修町3丁目6番1号
東京本社	東京都港区西新橋3丁目25番31号
事業内容	グループ各社の事業活動の支配・管理及び管理間接業務の受託

■ グループ会社

株式会社モリタ	兵庫県三田市テクノパーク1番地の5 〔はしご車、消防ポンプ車、その他各種消防車両並びに特殊車両の開発・製造・販売〕
モリタ宮田工業株式会社	神奈川県茅ヶ崎市下町屋1丁目1番1号 〔消火器を中心とした消火関連機器、消火装置、その他各種防災機器・設備の開発・製造・販売〕 平成26年7月1日付で(株)モリタ防災テックと宮田工業(株)が合併
株式会社モリタ環境テック	千葉県船橋市小野田町1530番地 〔リサイクル処理施設、その他各種ゴミ処理施設の設計施工並びに各種大型油圧機械の開発・製造・販売〕
株式会社モリタエコノス	大阪府八尾市神武町1番48号 〔衛生車、塵芥車等の環境保全車両の開発・製造・販売〕
株式会社モリタテクノス	兵庫県三田市テクノパーク32番地 〔消防車両・救助用資機材等のアフターサービス・メンテナンス並びに電子応用機械器具・情報処理機械器具の開発・製造・販売〕

株式会社 ア ル ボ	静岡県磐田市上神増1479-1
株式会社 関西ボデーワークス	兵庫県三田市テクノパーク2番地の3
株式会社 モリタユージー	東京都港区芝2丁目5番6号 芝256スクエアビル8階
株式会社 モリタエンジニアリング	大阪府八尾市神武町1番48号
株式会社 北海道モリタ	札幌市東区苗穂町13丁目2番17号
鹿児島森田ポンプ株式会社	鹿児島市松原町12番32号
株式会社 モリタ東洋	三重県伊賀市佐那具町金神塚1700番地の2
株式会社 ミヤタサイクル	神奈川県川崎市川崎区東田町11-27 住友生命川崎ビル8F
南京晨光森田环保科技有限公司	中国南京市江寧經濟技術開發区 天元中路188号
上海金盾特種車輛裝備有限公司	中国上海市浦東新区書院鎮麗正路1515号
四川森田消防裝備製造有限公司	中国四川省成都市温江区成都海峡兩岸 科技園新華大道一段8号
康鴻森田(香港)有限公司	Level 12, 28 Hennessy Road, Wanchai, Hong Kong

株主メモ

■ 株式のご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

公告の方法 当社のホームページに掲載する。
<http://www.morita119.com/kohkoku/index.html>

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪府中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

(インターネットホームページURL)
<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

上場証券取引所 東京証券取引所

1単元の株式数 100株

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください。

<http://www.morita119.com>



モリタオリジナルグッズ通販サイト
「モリタネットショップ」

<http://morita119-netshop.com/>

人と地球のいのちを守る

MURITA

株式会社 モリタホールディングス

大阪本社 〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目6番1号 ☎06-6208-1907

東京本社 〒105-0003 東京都港区西新橋3丁目25番31号 ☎03-5777-5777

<http://www.morita119.com>



**UD
FONT**

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。